

令和 7 (2025) 年度
(入試実施年度：令和 6 (2024) 年度)

東京大学大学院情報理工学系研究科

創造情報学専攻

入試案内書

問い合わせ先 [専攻事務室]

〒113-8656

東京都文京区本郷 7-3-1

東京大学工学系・情報理工学系等学務課

専攻チーム (創造情報学専攻)

電話 03-5841-6889

office@ci.i.u-tokyo.ac.jp

入試案内 Web ページ

<https://www.i.u-tokyo.ac.jp/> の「入進学希望の方へ」→「各専攻・教員の紹介」
→「創造情報学専攻」の「入試案内」をクリック

注意 1: 本冊子以外に、情報理工学系研究科の各募集要項(修士課程、博士後期課程、博士後期課程[社会人特別選抜]の 3 種類)のうち受験者に関するもの、および情報理工学系研究科入試 TOEFL 成績提出要項についても必ず目を通すこと。

注意 2: 創造情報学専攻では、修士課程、博士課程の両方において夏入試、冬入試を実施する。夏入試と冬入試とでは日程、試験科目、試験の実施方法が異なる。

注意 3: 出願時に希望した者には夏入試合格者の令和 6 (2024) 年 10 月入学、冬入試合格者の令和 7 (2025) 年 4 月入学(以下、早期入学と呼ぶ)を認める場合がある。

1 志願者へのメッセージ

情報理工学系研究科創造情報学専攻は比較的新しい本研究科の中でも一番新しい専攻です。創造情報学専攻は、コンピュータ科学、数理情報学、システム情報学、電子情報学、知能機械情報学の既存 5 専攻の分野を横断する専攻として、2005 年に誕生しました。教育理念は、「横断的融合分野における創造を通じて、卓越したアイデアを実現する実践的創造力を磨く」ことです。そのために、プロジェクトと高度人材育成を一体化するとともに、人材養成における産官学の連携を推進しています。諸君が本専攻を巣立って情報分野において先導的な役割を果たすことを期待しています。

2 修士課程

2.1 試験日程および試験科目

i) 夏入試

(1) 書類選考

出願書類をもとに書類選考が行われる。書類選考の合否結果の通知に関しては研究科募集要項で確認すること。

(2) 一般教育科目

数学、または、プログラミングを出願時に選択する。一般教育科目の試験を欠席した者は、入試を棄権したものとみなす。

試験科目	日時・場所	内容
数学	詳細に関しては研究科募集要項で確認すること	
プログラミング	令和 6 (2024) 年 8 月 16 日 (金) 13:00-15:30 工学部 6 号館 (予定) (詳細は試験当日までに web サイト上に掲示する)	プログラミングの基礎力を問う。各自がノートPCを持参し、与えられた課題についてのプログラムを作成する。プログラミング言語は各自の得意なものを使用してよい。 解答時間は合計 150 分。

注意：プログラミング試験に用いるノートPCにはプログラムの作成に必要な実行環境をインストールしておくこと。PC内に保存された文書、ライブラリ等の使用やソースプログラム等の流用を認める。試験中のネットワーク接続は認めない。USBメモリ (Type A) が使えることを確認しておくこと。マウスを持ち込んで使用できる。また、電源コンセント (アース無し) を 1 つ使用できる。

(3) 外国語

TOEFL のスコアを利用する。詳細は「令和 7 (2025) 年度東京大学大学院情報理工学系研究科入試 TOEFL 成績提出要項」を参照すること。

(4) 専門科目

以下の 5 つの専門科目のうちの 1 つを出願時に選択する。他専攻の専門科目を受験する場合、試験内容については当該専攻の入試案内書を参照すること。筆記試験を欠席した者は、入試を棄権したものとみなす。

専門科目	日時・場所	内 容
創造情報学	令和 6 (2024) 年 8 月 19 日(月) 13 : 00～15:30 工学部 6 号館 (予定) (詳細は試験当日までに web サ イト上に掲示する)	ソフトウェア・アルゴリズム, コンピュー タハードウェア, 情報システムなどに 関する問題が 3 問出題される. 解答時間は合計 150 分.
コンピュータ科学	コンピュータ科学専攻入試案内書を参照すること.	
数理情報学	数理情報学専攻入試案内書を参照すること.	
システム情報学	システム情報学専攻入試案内書を参照すること.	
電子情報学	電子情報学専攻入試案内書を参照すること.	

(5) 口述試験

令和 6 (2024) 年 8 月 21 日 (水) (開始時刻, 終了時刻は受験者数による), オンライン試験にて行う. 口述試験のスケジュールは試験当日までに web サイト上に掲示する. 口述試験では, 筆記試験の内容や, 現在の研究テーマ, 大学院での研究テーマなどについて口頭試問する.

ii) 冬入試

(1) 書類選考

出願書類をもとに書類選考が行われる. 書類選考の可否結果の通知に関しては研究科募集要項で確認すること.

(2) 一般教育科目

夏入試と異なり, プログラミングのみとなる.

筆記試験を欠席した者は, 入試を棄権したものとみなす.

試験科目	日時・場所	内 容
プログラミング	令和 7 (2025) 年 1 月 31 日 (金) 13:00-15:30 工学部 6 号館 (予定) (詳細は試験当日までに web サイト 上に掲示する)	夏入試の説明を参照のこと.

注意 : 夏入試の説明を参照のこと.

(3) 外国語

TOEFL のスコアを利用する. 詳細は「令和 7(2025)年度東京大学大学院情報理工学系研究科入試 TOEFL 成績提出要項」を参照すること.

(4) 専門科目

夏入試と異なり, 他専攻の専門科目を受験することはできない.
筆記試験を欠席した者は, 入試を棄権したものとみなす.

専門科目	日時・場所	内容
創造情報学	令和 7(2025) 年 1 月 30 日(木) 13:00-15:30 工学部 6 号館 (予定) (詳細は試験当日までに web サイト上に掲示する)	夏入試の説明を参照のこと.

(5) 口述試験

令和 7(2025) 年 2 月 3 日 (月) (開始時刻, 終了時刻は受験者数による), オンライン試験に行う. 口述試験のスケジュールは試験当日までに web サイト上に掲示する. 口述試験では, 筆記試験の内容や, 現在の研究テーマ, 大学院での研究テーマなどについて口頭試問する.

2.2 研究計画書の提出

志望分野, 志望理由, 入学後の研究計画, これまでの活動実績などについて, A4 用紙1枚に具体的にわかりやすく書いた pdf 文書を出願書類と一緒に提出すること. 図や表をいれてもよいが, 外部 URL の記載があっても審査に用いない.

3 博士課程 / 博士課程〔社会人特別選抜〕

3.1 試験日程

i) 夏入試

(1) 1次試験

試験科目	日時・場所	内容
専門科目 創造情報学	令和6(2024)年8月19日(月) 13:00-15:30 工学部6号館(予定) (詳細は試験当日までにwebサイト上に掲示する)	ソフトウェア・アルゴリズム, コンピュータハードウェア, 情報システムなどに関する問題が3問出題される. 解答時間は合計150分.
口述試験	令和6(2024)年8月20日(火) (受験者多数の場合, 8月22日(木)にも実施する場合もある. 開始時刻, 終了時刻は受験者数による.) オンライン試験にて行う. 口述試験のスケジュールは試験当日までにwebサイト上に掲示する.	修士論文またはそれに代わる研究内容および博士課程での研究計画について発表し(概ね20分程度, スライド使用可), その後に口頭試問を行う.

備考: (a) TOEFL のスコアを利用する. 詳細は, 「令和7(2025)年度東京大学大学院情報理工学系研究科入試 TOEFL 成績提出要項」を参照すること.

(b) 東京大学大学院情報理工学系研究科修士課程修了者または修了予定者については, TOEFL の成績の提出と専門科目の試験を免除する.

(2) 2次試験

2次試験を冬入試の期間に実施する. 2次試験は口述試験である. 詳細は1次試験合格者に追って通知する. 通知に記された指示に従い, 口述試験までに, 修士論文(最終版でなくてよい)またはこれに代わるものを提出のこと. 現在創造情報学専攻修士課程に所属している学生の場合は, 原則として, 令和7(2025)年1月23日(木)から1月24日(金)までの期間に2次試験を実施する. 10月入学希望者, および4月入学希望者のうち令和6(2024)年9月30日までに修士課程若しくは専門職学位課程を修了した者又は修了見込みの者に対しては, 1次試験の口述試験の際にあわせて2次試験を実施する.

ii) 冬入試

令和 7 (2025)年 1 月 30 日(木)から 2 月 3 日(月)の期間(ただし土日を除く)に 1 次試験及び 2 次試験を実施し, 若干名を受け入れる. 試験方法は夏入試に準じる. 専門科目試験の日程, 場所の詳細は修士課程の冬入試の専門科目試験に準じる.

3.2 博士課程志願者の提出書類について

博士課程を志願する者は, 出願期間よりも前に志望する指導教員とよく連絡を取っておくこと. 研究計画書は, 出願書類と一緒に提出のこと. 研究計画書の詳細は修士課程の「2.2 研究計画書の提出」を参照のこと. 博士課程 1 次試験合格者に対しては, 指導教員をただちに内定する(ただし変更になる可能性もある).

3.3 博士課程〔社会人特別選抜〕の提出書類について

3.2に記載された研究計画書に加えて, 博士後期課程〔社会人特別選抜〕学生募集要項 7. 提出書類等の「業績等の概要」を提出のこと. その様式は, 在職中の主な業績について項目ごとに簡潔な説明を付したものを A4 用紙 2 枚以下にまとめるものとする.

東京大学大学院情報理工学系研究科 創造情報学専攻
教員一覧ならびに研究分野等紹介（令和6(2024)年4月現在）

下記の一覧から志望教員（修士課程は最大第10希望まで、博士課程は1名）を選択し、
出願システム上で入力すること。

{ } 内は研究分野

〔専任教員〕 研究分野の詳細については次ページ以降を参照のこと。

- 教 授 千葉 滋
{プログラミング言語, 基盤ソフトウェア}
- 教 授 五十嵐健夫
{ユーザインタフェース, コンピュータグラフィックス}
- 教 授 定兼邦彦
{アルゴリズムとデータ構造, ビッグデータ処理}
- 教 授 猿渡 洋
{音声音響情報処理, 統計的信号処理, 機械学習}
- 教 授 江崎 浩
{スマートインターネット, センサネット}
- 教 授 岡田 慧
{日常生活ロボティクス, ロボット基盤ソフトウェア}
- 准教授 中山英樹
{マシンパーセプション, 自然言語処理, 機械学習}
- 准教授 塩谷亮太
{コンピュータ・アーキテクチャ, 基盤ソフトウェア, 情報セキュリティ}
- 准教授 塚田 学
{コンピュータネットワーク, サイバーフィジカルシステム}
- 准教授 梅谷信行
{コンピュータグラフィックス, 物理シミュレーション}
- 准教授 鶴川始陽
{基盤ソフトウェア, プログラミング言語, 並行処理, 組込みシステム}

〔学生受け入れ可能な兼任教員〕

- 教 授 宮尾祐介 (コンピュータ科学専攻)
{自然言語処理, 計算言語学}
- 教 授 高木 剛 (数理情報学専攻)
{暗号理論, 暗号応用}
- 教 授 中村 宏 (システム情報学専攻)
{コンピュータシステム, IoT/サイバーフィジカルシステム,
計算機アーキテクチャ}
- 教 授 田浦健次朗 (電子情報学専攻)
{並列分散処理, プログラミング言語, 大規模データ処理,
高性能計算とその応用}
- 教 授 原田達也 (知能機械情報学専攻)
{コンピュータビジョン, 機械学習, 実世界知能情報処理}
- 准教授 伊藤昌毅 (ソーシャル ICT 研究センター)
{交通情報学, サイバーフィジカルシステム, ITS, ヒューマンコンピュータ
インタラクション}

学生受け入れ可能な兼任教員の紹介

教員名	宮尾 祐介	研究分野	自然言語処理, 計算言語学
<p>本研究室では、自然言語処理・計算言語学とよばれる研究を行なっています。人間は、ことば（自然言語）を使ってコミュニケーションし、情報を理解し、行動しています。そのしくみを、数理モデルや言語理論を駆使して明らかにすることを目指しています。具体的には、以下のような研究を行なっています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 構文・意味解析、含意関係認識：自然言語の文の構造や意味を計算する ・ グラウンディング：自然言語の意味を画像や数値データなどの実世界データと接続する ・ 対話システム：自然言語を用いてコンピュータと情報をやりとりするシステムを構築する 			

教員名	高木 剛	研究分野	暗号理論, 暗号応用
<p>情報社会の安全性を支える暗号理論と暗号応用の研究を進めています。</p> <p>(1) 暗号数理：量子計算機の時代においても解読困難となる新しい数学問題（符号理論, 格子理論, 多変数多項式, グラフ理論など）を応用したポスト量子暗号の研究をしています。</p> <p>(2) 暗号応用：著作権保護, 電子投票, 仮想通貨など実社会での暗号利用を目的として, 効率的な暗号アルゴリズムの設計と物理的攻撃などに対して安全な暗号実装技術の研究をしています。</p>			

教員名	中村 宏	研究分野	コンピュータシステム, IoT/サイバーフィジカルシステム, 計算機アーキテクチャ
<p>システム情報学専攻の中村研究室では、物理世界と情報世界の高度なインタラクションを実現する高性能・高信頼・低電力コンピュータシステムに関する研究を行っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ IoT/サイバーフィジカルシステム：物理世界から得られる膨大なデータを情報世界で集約して利活用する IoT (Internet of Things) 社会において, センサからサーバを含めた高度な統合システムの実現や, グラフ処理基盤の研究 ・ 超消費低電力コンピュータシステム：回路実装・アーキテクチャ・システムソフトウェア・アルゴリズム間の協調による超低消費電力 VLSI やコンピューティングの低電力化と高性能化 			

教員名	田浦健次郎	研究分野	並列分散処理, プログラミング言語, 大規模データ処理, 高性能計算とその応用
<p>(ホームページ: https://tinyurl.com/taulab) 電子情報学専攻 田浦研究室のメインテーマは, 高性能計算を易しく, 誰にでもできるようにするためのソフトウェアとその応用です. 一つの柱は, 使いやすいプログラミング言語やライブラリを設計してそれを SIMD, マルチコア, GPU, スーパーコンピュータ上で高速に実行する処理系を実装する研究です. 生産性と処理性能を両立させるチャレンジングな分野です. 機械学習, 文字列処理, N 体問題など応用特化型の処理系や, 汎用的な負荷分散, 分散共有メモリなどの処理系を手がけています. デジタルアニーラ(量子アニーラのデジタル版)などの特化型のハードウェアのためのソフトウェアも研究しています. もう一つは大規模データ処理とその応用です. 会社のホームページをマイニングして事業承継先を見つける, 医療事故防止のための電子カルテ解析などを対象とし, 機械学習処理系や大規模データ処理系とのシナジーを探求しています.</p>			

教員名	原田達也	研究分野	実世界知能情報システム
<p>実世界とサーバーワールドを視覚・聴覚や言葉を用いてシームレスに接続する技術は, 人と言葉を通じてインタラクションを行うロボットの実現のみならず, 日々増え続ける膨大な web 上のマルチメディアデータ検索にも利用可能であり, 今後ますます重要性を増してくると考えられる. 本研究室では, 画像と言葉の間の概念を効率よく学習することで, 大規模な web 上の情報を活用した高速かつ高精度の画像認識・検索手法の開発や, この手法を実世界へ適応し, 身につけるだけで見たものを瞬時に認識し, 自らの視覚記憶を言葉で検索可能なウェアラブルゴーグル型デバイスの開発, 実世界から自律的に面白そうなものを発見し記事を執筆するロボットシステムの開発などを行っている. 見ているだけで楽しくなる知能情報システムの実現のみならず, 物事の本質を追求する意欲のある学生を歓迎する.</p>			

教員名	伊藤昌毅	研究分野	交通情報学, サイバーフィジカルシステム, ITS, ヒューマンコンピュータインタラクション
<p>ソーシャル ICT 研究センター 伊藤研究室では, 情報技術による交通の高度化を実現する研究を行っています. 交通センシング, 交通信号の最適制御, 人や車両の交通シミュレーション, 大規模時空間データ処理基盤, 交通ビッグデータ分析, バスダイヤや路線の最適化, 交通行動変容のための情報提示技術など, 基盤から応用領域までそれぞれで実践的な研究を進めています. 都市計画や過疎地のくらしの足など社会的な課題に挑戦したい学生, 鉄道やバス, 自動車などの乗り物に興味がある(あった)学生, 企業や自治体などとも連携しながら実データや実フィールドをもちいた実践的な研究を行いたい学生を歓迎します.</p>			

提出書類に関する専攻独自要件のまとめ

(研究科募集要項に記載の、研究科共通の提出書類要件もあわせて確認すること)

専攻独自の提出書類一覧表:

	夏入試		冬入試	
	提出書類	対象者	提出書類	対象者
修士課程	研究計画書 (A4 用紙 1 枚)	全員	研究計画書 (A4 用紙 1 枚)	全員
博士課程	研究計画書 (A4 用紙 1 枚)	全員	研究計画書 (A4 用紙 1 枚)	全員
博士課程 (社会人 特別選抜)	研究計画書 (A4 用紙 1 枚)	全員	研究計画書 (A4 用紙 1 枚)	全員
	在職中の主な業績 (A4 用紙 2 枚以下)	全員	在職中の主な業績 (A4 用紙 2 枚以下)	全員

専攻独自の TOEFL スコア提出要件一覧:

	夏入試	冬入試
修士課程	全員	全員
博士課程	本学大学院情報理工学系研究科修士課程修了者または修了予定者は免除. 以上の者以外は全員提出.	本学大学院情報理工学系研究科修士課程修了者または修了予定者は免除. 以上の者以外は全員提出.
博士課程 (社会人 特別選抜)	本学大学院情報理工学系研究科修士課程修了者は免除. 以上の者以外は全員提出.	本学大学院情報理工学系研究科修士課程修了者は免除. 以上の者以外は全員提出.